

人間科学研究グループ 助教 鈴木祐丞
研究テーマ：人間が人間として生きるとはどのようなことか 研究の特徴：哲学的アプローチ
研究紹介： 人間が人間として生きるとはどのようなことか、キェルケゴール、ウィトゲンシュタインといった思想家たちの生と思想、実存主義や倫理学、また言語学や宗教などの知見も参考に、哲学的に考察している。 その中で、これまであまり注目されてこなかったキェルケゴールの日記の分析や、その邦訳・出版のプロジェクトを進めている。またソクラテスーキェルケゴールーウィトゲンシュタインの三者をつなぐものとしての新しい「実存主義の系譜」を浮かび上がらせるとともに、その哲学史的意義についての考察に取り組んでいる。
研究業績（2013年度以降） ・査読付論文：4件 ・査読無論文：10件 ・著書：3（うち翻訳書2）件 ・学会報告等：10件 ・競争的研究費：科研1（若手B代表1）、スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団1
その他 地域貢献活動として、秋田哲学塾の代表を務め、哲学カフェなどを定期的で開催している。